採択大学：東京芸術大学（強化を図る機能：②、③）
連携大学：香川大学　参画機関：東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学

取組内容の概要

NEXT SDGs

「10年後の大学ビジョン」

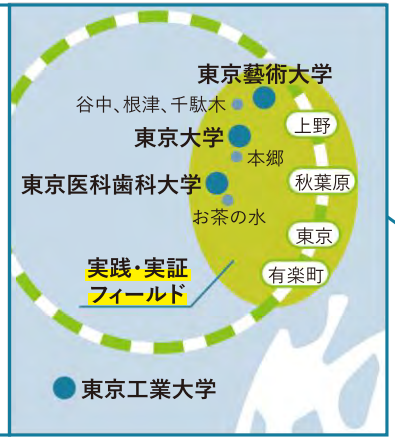
「人が生きる力」であるアートを基軸に、「一人ひとりの心の豊かさ」への眼差しを中心・根幹として現在のSDGsを拡張させ、17のゴールの垣根を融かし、異なる専門性や科学技術との融合によるイノベーション創出と、地域に根差した課題解決・社会実装について、国内外で中核的な役割を担う

3類型の「共創モデル」開発、アートのインパクト評価、共創を支える「運営モデル」構築を統合的に推進

取組(1).1 都市集積型の共創モデルの開発

- 個人や組織のWell-beingと創造性を高める多様な**コンテンツの開発・実装**
- 新事業・産業を創出する**インキュベーション・プラットフォームの構築**
- アートとビジネス・異分野をつなぎ魅力ある都市を創成する**新たな人材の育成**
- 国際都市 TOKYO の新しいビジョンと実践を示す**「人と人が繋がる芸術祭」の開発**

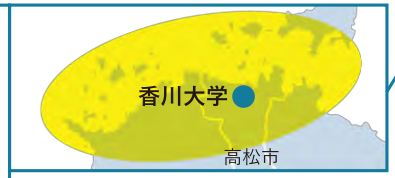
アートを媒介として国内外から人材が集積し
持続的に発展していくイノベーションハブの形成、
新たな価値交換に基づく「こころの産業」の創出

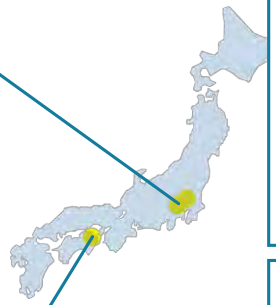


取組(1).2 地方／地域型の共創モデルの開発

- **海洋環境**の課題に係る研究・イノベーション
- **離島環境**の課題に係る研究・イノベーション
- 地域の課題解決・産業振興を支える**人材の育成**
- 自治体・産業界等との**持続的な共創関係**の形成

環境・文化等の特色・資源を活かした
課題解決・産業振興・人材育成の
複合実装メソッドを確立し、国内外に普及・展開





取組(1).3 多文化共生型の共創モデル(社会モデル)の開発

- 2025年11月の東京デフリンピックに併せ**「デフオペラ(DEAF OPERA)」**を開発・実施

障害の有無などの違いを超えた多様な
人々・文化の相互作用から表現・価値を創出

社会包摂や福祉のイノベーションを通じて、
誰もが共生・共創しあう未来の社会像を提示

取組(1).4 複数の共創モデルの横断・融合

- 都市と地方とを横断した共創環境の構築
- 統合的な実装モデルの開発・実践
（都心～郊外の面的実装：上野、千住、取手）

取組(2) インパクト評価

- アートが与える社会的・経済的インパクトの評価（評価手法の開発を含む）
- インパクトの可視化・伝達手法の開発

取組(3) 運営モデルの構築・定着化

- 研究環境・研究支援体制およびマネジメント体制の構築(研究量/質の向上)
- 研究者・マネジメント人材等の育成
- 事業終了後の継続・展開を見据えた収支構造の転換

実施体制

東京藝術大学（提案大学）

戦略会議 中長期的なビジョンおよび経営シナリオの策定

学部・研究科等

美術学部・研究科
絵画、彫刻、工芸
デザイン、建築
先端芸術表現
芸術学、文化財保存
Global Art Practice

音楽学部・研究科
作曲、声楽、器楽
指揮、邦楽、楽理
音楽環境創造
オペラ、音楽文化学

映像研究科
映画、メディア映像
アニメーション
（ゲーム）

国際芸術創造研究科
アートプロデュース

大学美術館
演奏芸術センター 等

教育プログラムの発展
（アートと社会・異分野
とを繋ぐ人材の育成）

基盤的な教育研究環境の
強化・充実に還元・循環

芸術未来研究場（2023年4月創設、統括：学長）

運営委員会 研究戦略および予算・人事・活動方針の決定

本部（マネジメントチーム）
・コーディネーター　・URA
・知財専門家　・新規事業創出担当者　・ファンドレイザー

研究場の活性化
- ■プラットフォームの構築・運営
- ■プロジェクトの創出・運営
- ■インパクト評価の取りまとめ

本事業の統括／運営モデルの構築
- ■全体計画の策定・推進
- ■研究支援／マネジメント体制の整備
- ■学内改革の推進、連携機関との協働の促進

横断領域（全学的な研究・事業・教育の企画立案・実行を担当）
新規領域を段階的に追加
各領域に専任若手研究者／アーティストを配置、学内外の様々な教員・研究者・学生が参画

クリエイティブ・アーカイブ

アートDX

ケア＆コミュニケーション

キュレーション

芸術教育、リベラルアーツ

共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点（COI-NEXT）
「共創の場（COI-NEXT）」をリーディングプログラムとしつつ、
対象課題や実装範囲を拡張する「共創モデル」を研究場全体で開発し、取組・成果を相互展開

都市集積型共創モデル開発チーム
地方／地域型共創モデル開発チーム
多文化共生型共創モデル開発チーム
統合実装モデル開発チーム
インパクト評価チーム

大学改革により新たな「運営モデル」を定着させ「エビデンスを伴う共創モデル」を
国内外に普及・展開することで経営リソースを大幅に拡大

ネットワークを通じた
広域的な社会実装

連携機関

- ・香川大学
- ・東京大学
- ・東京医科歯科大学
- ・東京工業大学

研究支援／マネジメントにおける連携
- ■各機関の研究戦略への相互貢献
- ■研究者等の相互交流
- ■研究支援体制・リソースの共有
- ■スタートアップ支援体制の連携
- ■研究DX,事務DXにおける協力
- ■産業界等とのネットワークの接続

共創モデルの開発・普及インパクト評価における連携
- ■多様な専門性の研究者の参画
- ■各大学の施設・設備等の活用

協力機関

- ■海外大学，国際機関
- ■企業（まちづくり，交通，金融等）
- ■地方自治体
- ■産官学・地域プラットフォーム
- ■文化機関
- ■全国芸術系大学コンソーシアム
- ■Shared Campus

取組内容の時系列イメージ

2023、24～26年度	2027～28年度	2029～33年度
長期ビジョン／経営シナリオの具体化・全学共有	新たな経営モデルを支える体制の永続化	
連携機関との相補的・相乗的な協働スキームの構築	グローバル視点での連携の拡大、学術的な成果の蓄積	

(1)共創モデルの開発および普及・展開

- (1).1 都市集積型の共創モデルの開発
- (1).2 地方/地域型の共創モデルの開発
- (1).3 多文化共生型の共創モデルの開発
- (1).4 複数のモデル開発の横断・融合

国際共同研究の拡充
インキュベーションの推進
国内外への広域普及・展開
多文化共生社会への転換促進

(2)アートを基軸とした取組に係る社会的・経済的インパクトの評価

評価手法の開発、インパクトの総覧化(エビデンス集／ロジックモデル集)、可視化・伝達

(3)運営モデルの構築・定着化

(3).1 研究環境・支援体制およびマネジメント体制の構築

a. **研究に専念できる時間**の総量の大幅な拡充
b. **藝大版URA**等に係る制度・体制の構築
c. **イノベーション・コモンズ**の整備
d. **事務DX**の促進、事務体制の整備

(3).2 共創および運営を担う人材の育成・獲得

a. 芸術未来研究場の取組の**カリキュラムへの反映**
b. 社会人向け等の**履修証明プログラム**の整備
c. **若手アーティスト等のネットワーク構築**

(3).3 事業終了後を見据えた収支構造の転換

a. **研究の事業化**の推進
b. **ファンドレイジング**の促進
c. 多様な**教育プログラムによる自己収入**の拡充
d. 業務・体制の整理統合等による**既存経費の合理化**

広域的な普及・展開に向けた運営の推進

人材育成機能の強化

KPIの達成度に基づく取組の加速・改善

新しい経営スキームの完成(共創モデル＋運営モデル)

取組の持続・発展による経営リソースの拡大および基盤的な教育研究環境への還元

社会的・経済的なインパクトに係るエビデンスの蓄積・精緻化(他領域への波及)

本事業により構築した運営体制の恒常化・自走化およびその為の人材育成の促進

主なアウトカム

- 受託・共同研究等の研究費受入額 **＋6.35億円／年**
- スタートアップや地域課題解決型の新規事業創出数 **＋12件(累計)**
- 海外大学等との共同研究等件数 **＋12件／年**
- 寄附金受入額 **＋2.4億円／年**

主なアウトプット

- コンソーシアム参画機関等数 **＋72機関**
- アートと異分野とを繋ぐ人材の育成・輩出数 **＋1万人(累計)**